

議会だより

まほう

第80号

令和8年7月28日

発行

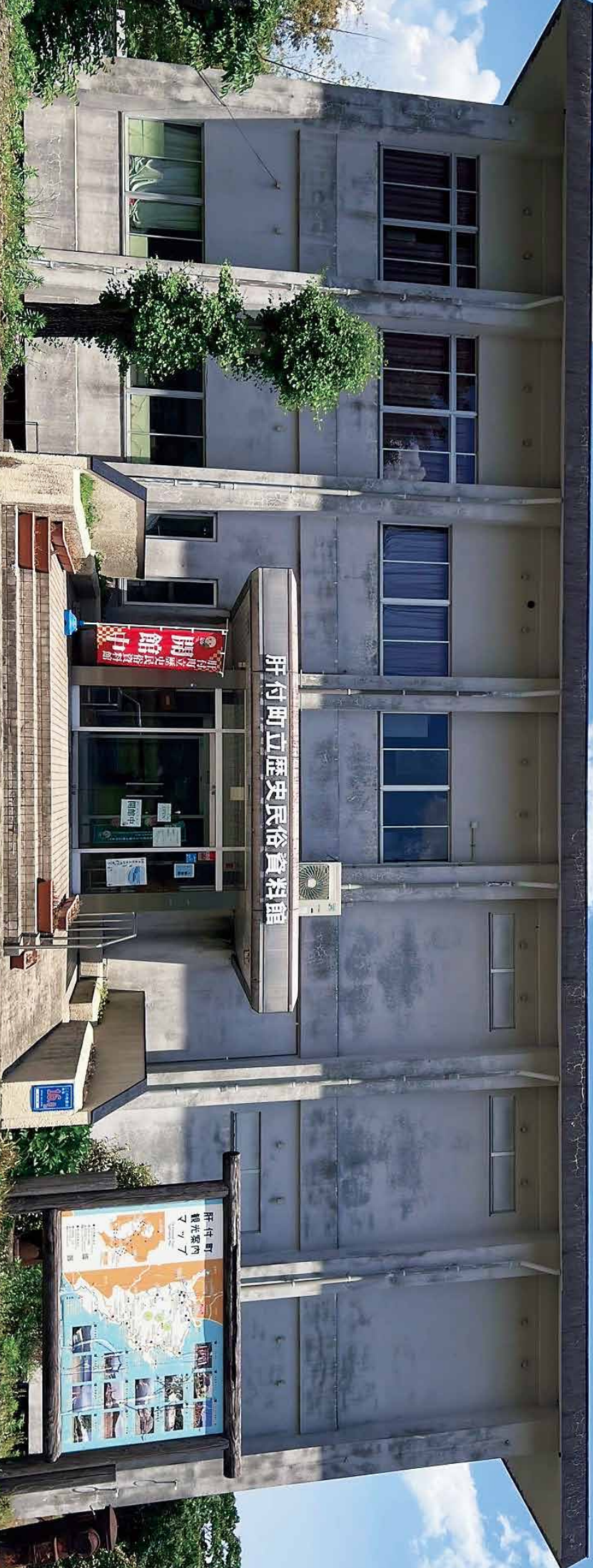


議会だよりページ

肝付町の歴史を身近に感じよう！

【写真の説明については2ページをご覧ください】

歴史民俗資料館



新たな体制で臨みます！

肝付町議会は、5月1日に臨時会が開催されました。

町議会議員改選後、初めての議会であるため議長選挙が行われ、有留智哉氏が議長に選出されました。

副議長には、木村實馬氏が選出され、その後、各常任委員会と議会運営委員会の委員の選任が行われました。

新しい議員12名を、4年間の抱負とともにご紹介いたします。

(期数については、肝付町議としての期数を掲載しています。)



議 長

ありどめ ともや
有留 智哉 議員

[議席番号：12
(4期目)]

見える、伝わる議会を目指し、公平・公正な議会運営に努め、議会と町のさらなる発展に尽くします。



副議長

きむら じつ ま
木村 實馬 議員

[議席番号：11
(7期目)]

この度副議長を拝命し、全力で職務に専念して参ります。
今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

【表紙について】

肝付町立歴史民俗資料館は、昭和55年に地域の貴重な文化を後進に伝えるため建てられました。

設立のきっかけとなったのは、すぐ近くにある日本最南端の前方後円墳（花牟礼古墳を含む）塚崎古墳群の遺跡群でした。

考古学的な出土品や地域住民から寄贈された農機や生活用品などの古民具も同時に収集、展示されています。特に西郷隆盛が着用したと伝えられている掻巻かいまきの展示があり、とても興味深い資料館です。



（歴史民俗資料館の案内）

- 開館時間：午前9時～午後4時30分まで
- 入場料：無料
- 休館日：毎週月曜日、祝日、12月28日～1月4日
- 住所：肝付町野崎1936
- 電話：0994-65-0170



しみず こうすけ
清水 幸祐 議員
議席番号：2
(1期目)

地方行政の仕組みを活かし、新しい視点で可能性を広げていきます。



はらぐち いずみ
原口 泉 議員
議席番号：1
(1期目)

全身全霊をもって肝付町、住民の皆様のために努めて参ります。



こだま ひでゆき
小玉 秀行 議員
議席番号：4
(1期目)

町民の声を力に、安心して笑顔あふれる町づくりに取り組みます。



なかむら
中村 かよ 議員
議席番号：3
(1期目)

地域の絆を大切に町の未来のために、今できることを行動に移していく！



しんどう すずこ
進藤 鈴子 議員
議席番号：6
(元職 2期目)

町民の皆様のお声を大切に、誠実に議会へ反映させてまいります。



まえはら かずゆき
前原 和幸 議員
議席番号：5
(2期目)

課題解決に向けた具体的な条例や政策の提言を行ってまいります。



まえだ みはる
前田 美春 議員
議席番号：8
(3期目)

地域の声、町民の皆様の声に応えてまいります。これからも。



よしはら ひかる
吉原 光 議員
議席番号：7
(3期目)

最高の負託を力に変え、お一人お一人の幸せへ、ぶれずに尽くす。



ますやま じろう
益山 二郎 議員
議席番号：10
(7期目)

在任年数 30 年超え、責務の重さを痛感します。初心忘るべからずです。



やなぎ かずお
柳 一夫 議員
議席番号：9
(5期目)

議員となり、地域を想い町を考え誠心誠意、正直にまっすぐ動きます。

新しい委員会の構成等をお知らせします。

議会運営委員会

円滑な議会の運営を期するため、会期や議案、請願などの取り扱いに関する議会運営全般についての協議や意見調整が行われます。

名 称	定数	任期	所 管 等 (内容)
議会運営委員会	7 名	2 年	議会運営、町議会委員会条例、会議規則等に関する事項、議長の諮問に関する事項

委員長 益山 二郎
 副委員長 清水 幸祐
 委 員 原口 泉・前原 和幸
 進藤 鈴子・吉原 光
 木村 實馬



総務・文教委員会

下記の課が所管する事務事業の調査や財政の健全化に向けた調査、学校の環境整備等の調査を行います。また、請願・陳情の審査を行います。

名 称	定数	任期	所 管 等 (内容)
総務・文教委員会	6 名	2 年	総務課、企画調整課、宇宙のまちづくり推進課、デジタル推進課、税務課、住民課、会計課、教育委員会、選挙管理委員会および監査委員の所管に属する事項ならびに他の委員会の所管に属しない事項

委員長 吉原 光
 副委員長 小玉 秀行
 委 員 原口 泉・中村 かよ
 前田 美春・木村 實馬



産業・福祉委員会

下記の課が所管する事務に関する調査や請願・陳情の審査を行います。

名 称	定数	任期	所 管 等 (内容)
産業・福祉委員会	6 名	2 年	健康増進課、福祉課、農業振興課、林務水産商工課、畜産課、建設課、農業委員会、町立病院及び水道課の所管に属する事項

委員 長 進藤 鈴子
 副委員長 益山 二郎
 委 員 清水 幸祐・前原 和幸
 柳 一夫・有留 智哉



議会広報委員会

議会の機関紙として、町政・議会活動等をわかりやすく町民にお知らせするため「議会だより」を年4回発行します。

名 称	定数	任期	所 管 等 (内容)
議会広報委員会	6 名	2 年	議会広報誌の編集及び発行に関すること

委員 長 前原 和幸
 副委員長 清水 幸祐
 委 員 原口 泉・小玉 秀行
 中村 かよ・木村 實馬



令和8年9月定例会 会期日程 (案)

月	火	水	木	金
	1	2 定例会 (初日) 決算審査特別委員会	3 決算審査特別委員会	4 決算審査特別委員会
7 決算審査特別委員会	8 決算審査特別委員会	9	10 決算審査特別委員会 (予備日)	11 常任委員会
14 常任委員会	15 常任委員会	16	17 定例会 (一般質問)	18 定例会 (一般質問)
21	22	23	24	25 定例会 (最終日)
28	29	30		

※日程は都合により変更する場合があります。

審議内容・議案に対する可否状況

令和8年 第2回臨時会及び第2回定例会（令和8年5月1日～6月19日）

議案等	件名	賛否の意思表示												議決月日	議決結果
		原口	清水	中村	小玉	前原	進藤	吉原	前田	柳	益山	木村	有留		
承認第2号	肝付町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.1	承認
	解説 国の税制改正にともなう肝付町税条例の一部改正を行うもの。														
承認第3号	肝付町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.1	承認
	解説 国の税制改正にともなう肝付町国民健康保険税条例の一部改正を行うもの。														
同意第1号	固定資産評価委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.1	同意
	解説 （固定資産評価委員：敬称略）・谷口ひろみ（税務課長）														
同意第2号	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.1	同意
	解説 （監査委員：敬称略）・前原和幸（議員）														
報告第2号	令和7年度肝付町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	報告
	解説 [主なもの] ●総合振興計画策定業務委託事業費 ●物価高対応子育て応援手当事業 ●農地耕作条件改善事業（病虫害対策） ●「チームきもつきくらし応援商品券」配付事業														
報告第3号	債権放棄の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	報告
	解説 ・奨学金：1件分・水道使用料：26件分														
同意第3～18号	農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	同意
	解説 （農業委員16名：敬称略） ・横山一郎 ・永野易美 ・内村綾美 ・内村香織 ・立迫直美 ・黒江幹也 ・上高原正人 ・福田智浩 ・上名主辰也 ・坂口利邦 ・美坂美智子 ・大窪輝則 ・山下昭司 ・中村悠喜 ・福元 強 ・下園政雄														
議案第33号	鹿屋市との間における笠野原地区水利施設管理強化事業の事務の委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	可決
	解説 笠野原地区水利施設管理強化事業の実施にあたり、関係する事務の一部を鹿屋市に委託するもの。														
議案第34号	肝付町学校給食センター炊飯機器増設他設置工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	可決
	解説 契約金額：6,369万円 相手方：鹿児島アイホー調理機株式会社														
議案第35号	令和8年度肝付町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	原案可決
	解説 1,899万円を追加し、105億958万円とする [主なもの] ●任期満了後の地域おこし協力隊への起業に対する支援補助金 …………… 100万円 ●振興会活動に必要な備品整備に対する事業補助金 …………… 250万円 ●宮富小学校の教室数を増設するための設計業務委託料 …………… 95万円 ●地区公民館の消防用設備の修繕 …………… 46万円														
議案第36号	令和8年度肝付町特別会計国民健康保険事業費事業勘定補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.5	原案可決
	解説 850万円を追加し20億1,451万円とする [主なもの] ●子ども子育て支援納付金（子育て世帯への支援制度）…………… 830万円														

議案等	件名	賛否の意思表示												議決月日	議決結果
		原口	清水	中村	小玉	前原	進藤	吉原	前田	柳	益山	木村	有留		
陳情第1号	義務教育費国庫負担制度負担金の引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	R8.6.19	採択
	解説 陳情者（敬称略）：中村 剛														
発案第1号	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	R8.6.19	原案可決
陳情第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	R8.6.19	採択
	解説 陳情者（敬称略）：中村 剛														
発案第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	R8.6.19	原案可決
議案第37号	令和8年度肝付町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	R8.6.19	原案可決
	解説 1,448万円を追加し、総額を105億2,407万円とする [主なもの] ●5月27日豪雨・台風6号・6月7日豪雨により被災した箇所の復旧工事や修繕のための補正														

※賛否の表示は、○：賛成、×：反対となっています。
※議長には、表決権がありません。
※各議案（案件名）の「～について」は、省略しています。

令和8年 第2回臨時会及び第2回定例会中における定例会・委員会等の出欠状況

日付	会議名	出欠状況											
		原口	清水	中村	小玉	前原	進藤	吉原	前田	柳	益山	木村	有留
令和8年5月1日	臨時会（初日：議案審議など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○
	総務・文教委員会	○	—	○	○	—	—	○	○	—	—	○	—
	産業・福祉委員会	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	—	○
	議会広報委員会	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年6月1日	議会運営委員会	○	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○
令和8年6月2日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年6月5日	定例会（初日：議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年6月8日	産業・福祉委員会	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	—	○
	総務・文教委員会	○	—	○	○	—	—	欠	○	—	—	○	—
令和8年6月11日	定例会（2日目：一般質問）	○	◎	○	○	○	◎	欠	○	○	○	◎	○
令和8年6月12日	定例会（3日目：一般質問）	○	○	○	◎	○	○	欠	○	◎	◎	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議会広報委員会	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—
令和8年6月17日	議会運営委員会	○	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○
令和8年6月19日	定例会（最終日：議案審議など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	傍聴者との意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年6月29日	議会広報委員会	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—

※欠席の理由：吉原議員（体調不良）本人届出のとおり。
◆委員会構成（太字：委員長）
総務・文教委員会：吉原・小玉・原口・中村・前田・木村（6名）
産業・福祉委員会：進藤・益山・清水・前原・柳・有留（6名）
議会広報委員会：前原・清水・原口・中村・小玉・木村（6名）
議会運営委員会：益山・清水・原口・前原・進藤・吉原・木村（7名）
※「—」は所属外
※「◎」は一般質問者



肝付町議会

Kimotsuki town council

6人が問う



きむら じつ ま
木村 實馬 議員

P. 9



- ・ 自主財源向上策について



しんどう すず こ
進藤 鈴子 議員

P. 10



- ・ 指定ごみ袋の見直しについて
- ・ 家庭の剪定枝葉の収集について
- ・ 福祉タクシー券について



しみず こうすけ
清水 幸祐 議員

P. 11



- ・ わが町の現状認識と、地域の状況を好転させるための町長の政治姿勢について



こだま ひでゆき
小玉 秀行 議員

P. 12



- ・ 選挙の投票率について
- ・ 町からの情報発信について
- ・ 住みたい田舎ランキング入りについて
- ・ 観光地のトイレ整備について
- ・ 指定ごみ袋の供給について
- ・ 図書館の整備について



やなぎ かず お
柳 一夫 議員

P.13



- ・ 中山間地の荒廃の防止について
- ・ 農業振興センターのハウスの状況について



ますやま じろう
益山 二郎 議員

P.14



- ・ 学校問題について

※二次元コードから各議員の一般質問の動画を閲覧できます。

☆YouTube『肝付町議会』第2回定例会 中日①～③でご視聴できます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めること。
掲載内容・写真等については、それぞれの質問者の責任においてまとめ、議会広報委員会が編集したものです。

本町の自主財源向上策として、行政・未来商社
そらまち・議会・商工会（民間企業等）が連携
した官民共創構築で地域資源等を活かす多種多
様な政策推進を。

木村 實馬 議員



本町の自主財源向上策

「町長」関係機関と協議検討する

問 今日まで私なりに自主財源・ふるさと納税を

含む確保のありかたを質問してきたが、今回は行政・未来商社そらまち・議会・商工会（民間企業等）が連携した官民共創のプロジェクト政策の提言を行いたい。

答 ご指摘の通り地方交付

税の減少が見込まれる中にあるとしても、現在の町民サービスの維持し更なる福祉の向上を図るためには自主財源の確保が重要な課題であると認識しており、実現に向けた可能性を研究していく。

問 官民連携で協働しそれ

ぞれが持つ強みを発揮できればと考える。町内には民間企業による4か所の小水力発電所が稼働している。コンサル会社情報では、本町内河川には小水力発電のポテンシャルを秘め

た河川が大小相当数存在するそうである。日置市にお

かれては、行政機構の中に地域共創課を設置されている。その取り組みで総事業費7億円の4分の3を環境省の交付金で賄う日置市が整備中の神之川太田水力発電所の記事が掲載されていたが、町長はこの日置市の取り組みを本町の取り組みと照らし合わせた時どのような感想を持たれたか伺う。

答

民間事業者による小水力発電の取り組みについては、固定資産税や協力金という形で本町の自主財源に貢献をいただいている。日置市の記事につきましては拝読した。地元企業や金融機関が主体的に参画し、地域一体となったエネルギー循環の体制が構築される点にお

いて、大いに参考にすべき先進事例であると受け止めている。木村議員からは、継続的に自主財源をテーマとした提言をいただいております。本町に秘められた多種多様な事業の掘り起こしが本町にとって真に実効ある振興策となるよう関係機関と協議検討を進めていく。



▲ 岸良発電所



▲ 閉校の教室を利用した陸上養殖のようす



進藤 鈴子 議員

剪定枝葉や竹の資源化、地域一体となった持続可能な取り組みを提案。
重度障がい者に寄り添った支援を求める。

指定ごみ袋代の負担軽減を

「町長」市販の袋は、破損などが予想される

◎指定ごみ袋の見直しについて

問 中東情勢の悪化に伴いナフサの調達難で指定袋も値上げされた。家計の負担軽減のために安い市販のものに替えられないか。

答 市販のものでは、収集の際、袋が破れたり、ごみが周辺に飛び散る可能性もあり、収集体制そのものに影響が出ることが予想される。

剪定枝葉の現状のままでの収集を

「町長」袋に収容し、袋の破損時は紐で束ねる

◎剪定枝葉の収集について

問 家庭の剪定作業で出る枝葉など、ごみ袋に収容できないものは後始末ができていない。収集はできないか。困っている。収集はできないか。

答 指定のごみ袋に収容すれば収集可能である。ただし、直径15cm長さ50cm以内とする。

問 枝や竹は焼却せず粉碎機で堆肥化すれば重要な資源となる。地域一体となって持続可能な資源化に取り組めないか。

答 堆肥化に限らず木や竹の粉碎を活かした防草対策や、乳酸菌発酵で土を元気にする竹パウダー、畜舎の敷料としての竹チップなど、持続可能な取り組みを前向きに検討する。

福祉タクシー券を単独助成制度へ

「町長」現時点では現行の制度を継続する

◎福祉タクシー券について

問 福祉タクシーの助成制度を実施してるが温泉券に一体化したのは何故か。

答 昨年の10月、年度途中からの開始のため、温泉券と共有することで迅速的と判断した。

問 温泉券と切り離れた助成支援はできないか。

答 現時点では現行の制度を継続する。今後の利用状況や財源の精査、他の助成事業とのバランス等を検証したのち総合的に判断する。

問 タクシー券助成の認知度が低く高齢者の広報確認も難しい。

しい。今後の周知方法が課題ではないか。

答 広報誌と更にパンフレットの配布や社会福祉協議会と連携した周知活動の取り組みに努める。

★重度障がい者の受診は困難です。多くのハードルを越えなければなりません。寄り添った支援を要請する。



▲ 広報「きもつき」4月号
18 ページ掲載記事



町内の
福祉タクシー▶



清水 幸祐 議員

地域の灯が消えゆく危機感の中、ただ縮小を受け入れるのではなく、町による直接雇用と国への財政要求という手段で、この町を次世代へ手渡すための道筋を問いました。

人口減の危機感と原因

「町長」危機感共有と雇用不足

◎人口減少への危機感と根本的な原因

問 2050年に町内人口が約半数の7,500人

になると推計される中、地域経済や医療、インフラ等あらゆる機能が連鎖的に崩壊するこの現実に向き合うか。町長の危機感と人口減少の根本要因への認識を伺う。

答 議員と全く同じ強い危機感を共有している。

地方小規模町村の人口減少は全国共通の課題だが、本町で人が減る最大の理由は「働く場所がなく町外へ出ざるを得ないこと」だ。移住定住や子育て支援等の施策の成果を検証し、必要な見直しを躊躇なく行い全力で取り組む。

民間の限界と行政主体の直接雇用

「町長」町主体で生活を守り抜く

◎民間活力の限界と行政の主体的な関与

問 人口減で市場が縮小する

地方では、利益前提の民間活力や官民連携だけでは地域機能を維持できない。行政が公的雇用を創出するなど、より主体的に地域のインフラや担い手確保に直接関与する仕組みを作るべきではないか。

答 民間活力だけでは解決に

限界があるとの認識は完全に一致している。町はこれまでスマートエネルギーや地域商社「そらまち」を設立し、町主体で稼げる体制構築に取り組んできた。採算が合わず民間が撤退する生活インフラ事業は国の助成も活用し「そらまち」が担う等、地域で安心して暮らせる仕組みを作っていく覚悟だ。

国への財政要求と情報共有

「町長」一層強い要望とSNSでの発信

◎国への積極的な財政支援の要望と情報発信

問 国の財政規律を理由とした投資抑制が結果的に地方衰退を招いている。従来の要望にとどまらず、国へ

積極的な財政出動や制度改革を強く迫る必要がある。全国の首長と連携して国へ働きかけ、その過程を適宜町民に共有して欲しいがどうか。

答 地方への財源配分拡充や過疎対策の強化が必要であるとの考えは同じだ。

これまで地方交付税の安定確保等を再三要望してきたが、今後は集落崩壊の危機を示す具体的なデータを突きつけ、国や県へより一層強く働きかけていく。情報発信の不足も真摯に受け止め、今後はSNS等を通じた町民への発信に一層力を入れていく。

町長へ求めた国への働きかけと情報発信の約束

働きかけ(要求内容)	対象・連携先	目的・ねらい
①地方交付税の増額要求	総務省「意見の申出制度」の活用	公的雇用やインフラ維持の財源確保を直接・公式に要請
②国への意見書の提出	町村会鹿児島県・全国の首長と連携	地方の厳しい現実を訴え、地方への積極財政を連携して求める
③取組状況のSNS発信	町公式SNS(町公式メディア)	上記の要望過程を町民へ適宜共有し、町の未来に向けた機運を高める(町長が実施を約束)

主要国と日本の地方公務員数比較(人口1,000人あたり)

国名	地方公務員数
ドイツ	51.7人
アメリカ	49.5人
フランス	46.4人
日本	28.1人

公的な支えの確保が急務
日本の地方公務員数は、主要国と比較して非常に少ない水準にあります。これまで様々な分野で民営化が進んだ背景があり、採算や効率だけでは地域を支えきれない現実も見えてくる中、人口減少が進む地域社会の基盤を維持するためには、今後どのように公的な支えを確保していくかが大きな課題となっています。

※出典：内閣人事局公表資料(2022～2023年時点データ)



小玉 秀行 議員

4月の議員選挙の結果を受けた投票率向上策や町からの情報発信、住みたくなる町、移住促進、観光整備、ごみ袋問題、図書館構想など、町の将来に関わる幅広いテーマについて

町議会選挙の総括と投票率向上策

町長 投票率向上のため、対策を進める

問

投票所削減の影響、立候補者説明会の日程の前倒し、ポスター掲示板の適正配置、ホームページ等での候補者情報の公開を求める。

答

若者の投票離れや一部の地区での投票率の低下は見受けられた。次回から日程の1か月前倒しや掲示板配置の見直しを検討し、ホームページ等の活用も研究していく。

情報の最新化と公式ラインの活用

町長 町民へ最新の情報を提供していく

問

町のホームページの更新日が古いものが散見される。肝付町公式ラインの活用拡大を提案する。

答

年度末に一斉点検を行う等のルールを導入し常に

最新版を提供する。肝付町公式ラインの画面を一新し、「防災・ごみ・子育て・観光・町政」等の情報がすぐに見ることができる準備を進める。



肝付町公式ライン

にぎわい創出と移住定住の促進

町長 若者、移住者への支援を進める

問

雑誌の「住みたい田舎ベストランキング」で子育て・シニア世代（6位、8位）が高評価の一方、若者単身部門はランク外だった。課題の分析と、地域住民と移住者をつなぐ「キーマン」の育成について伺う。

答

医療費窓口負担無料化等の子育て支援や移住サポートの充実が評価された。若者向けには雇用の受け皿や交流の場が不足している。移住者を地域で孤立させない案内人・キーマンの発掘や組織的バックアップを検討する。

※1 出版社「株式会社宝島社」

観光客、高齢者向けのトイレ整備

町長 利用頻度の高いものを洋式化する

問

観光客や高齢者の満足度向上のため、トイレの洋式化を急ぐべきでは。

答

新設は洋式化済み。今後利用頻度の高い箇所を優先して洋式化する。



町指定のごみ袋の安定供給

町長 管理を確実に、不足時は迅速対応

問

在庫確認の方法や、不足となった場合の対応は。

答

業者へ定期的に連絡し、異変を即座に察知できる体制がある。品薄時は緊急措置を速やかに周知する。

「多世代交流型図書館」の整備

「教育長」検討委員会にて具体的に検討する

問

遊休施設を活用し、学習室やカフェ等を備えた複合型図書館を整備すべきでは。

答

検討委員会において組織横断的に議論を進める。単なる本の提供に留まらず、多世代が交わる本町の身丈に合った新しい図書館の在り方を検討していく。



AIによるイメージ図

中山間地の人口減少や荒れる田畑。先々を危惧する。再生への道は。地域の活性化、町の発展へとつながっていく。

柳 一夫 議員



中山間地を持続させていく方策は

「町長」国の支援事業を丁寧に説明し協議する

問 人口減少に高齢化、中山間地を今後どう対応していくと考えるか。

人口減少に高齢化、中山間地を今後どう対応していくと考えるか。

答 耕作放棄地は深刻な課題である。地域の声を聞き次世代へ引き継ぐための施策を推進していく。

問 中山間地を持続させていくための方策は考えているか。

中山間地を持続させていくための方策は考えているか。

答 国の支援事業制度を丁寧に説明し事業実施に向けて協議していく。農業面だけでなく地域コミュニティの維持や景観作物の植栽による地域活性化、定住促進など関係機関とも連携を図りながら総合的な施策を展開していく。

問 荒廃地を防ぐため国の支援事業を進めていくとの考えですが、この事業は新たな制度に変更されたと思うが。中山間地域に沿った変更点があるのか。

荒廃地を防ぐため国の支援事業を進めていくとの考えですが、この事業は新たな制度に変更されたと思うが。中山間地域に沿った変更点があるのか。



▲ 再耕を待つ耕作放棄地

答 中山間地域等支払制度は、傾斜地が多く生産条件の不利がある農業生産活動に対して交付されるものだが、主な変更点は二点。一、地域計画との調整を図るため農振農用地区内かつ地域計画域内に見直し。二、複数の集落協定間での連携。

中山間地域等支払制度は、傾斜地が多く生産条件の不利がある農業生産活動に対して交付されるものだが、主な変更点は二点。一、地域計画との調整を図るため農振農用地区内かつ地域計画域内に見直し。二、複数の集落協定間での連携。三、共同化など行う場合のネットワーキング化、ラジコンやドローン等のスマート農業加算。持続可能な体制を構築できるよう情報提供をしっかりとやっていく。

問 中山間地域等支払制度は、提出書類が多く難しい。町で手伝い等はできないか。

中山間地域等支払制度は、提出書類が多く難しい。町で手伝い等はできないか。

答 行政が事務を丸抱えすることは適当でないと言われている。活動組織の事務作業が軽減されるようサポート体制を構築対応すると共に国や県に事務負担軽減を要望していく。

行政が事務を丸抱えすることは適当でないと言われている。活動組織の事務作業が軽減されるようサポート体制を構築対応すると共に国や県に事務負担軽減を要望していく。

使用されていない研修ハウスがあるのでは

「町長」経営実証を目的に貸し出し、有効利用を図る

問 地域農業活性化のため研修制度がある。それを経て独立された方は何名か。

地域農業活性化のため研修制度がある。それを経て独立された方は何名か。

答 19名です。地域農業の担い手として頑張っておられる。

19名です。地域農業の担い手として頑張っておられる。

問 独立後の状況把握は。又修了後は何年ぐらい指導助言されているか。

独立後の状況把握は。又修了後は何年ぐらい指導助言されているか。

答 栽培状況を確認すると共に、8年ぐらい相談に応じている。

栽培状況を確認すると共に、8年ぐらい相談に応じている。



▲ 収穫後の農業研修ハウス

問 農地面積を調べ交付額の計算、試算はできないか。

農地面積を調べ交付額の計算、試算はできないか。

答 農地の情報があれば詳細な試算額はお示しできる。

子どもたちや親の方々の御意見の中に様々な問題が浮かび上がってくる。現状の中や、次世代に渡る事柄など多岐にわたる。今回は4点に絞り議論してみた。

益山 二郎 議員



教科書(紙・デジタル)について

「教育長」 効果があると評価する

問 紙の教科書とデジタル教材を使っているが、学力向上の面から効果はどの程度か。

答 デジタル教材は効果があると評価する。

問 教材の更新は適切に実施しているのか。

答 更新時期は滞りなく進めている。

問 全国に比べ本町の学力レベルはどうか。

答 点数は公表しない。一部教科は上回るが、国語が下回っている。

問 対策法は。

答 校長会で改善策を指示している。



▲ 電子黒板

不登校について

「教育長」 「不登校支援室きらっと」を設置し対応

問 不登校生数の推移はどうなっているか。

答 文科省定義上の対象者は若干名いる。前年対比、小学校は増加、中学校は減少である。

問 ケアは十分か。

答 「不登校支援室きらっと」を設置し対応して、有資格者による指導を行っている。

問 「不登校支援室きらっと」の運営状況はどうなっているか。

答 現在は運営可能。手厚い対応を求めるが、利用者の増や諸事情があれば検討する。

部活動はどうなる

「教育長」 親と生徒に対し、情報提供を進めたい

問 文科省スポーツ庁主導で進められている部活動の地域展開。現状を問う。

答 地域移行の協議会を設置し検討中。部活動の枠組みを維持しつつ地域に手助けをしてもらう形で地域連携を進められないか提案している。

波野小、波野中の学校再編は

「教育長」 令和9年4月を目途に進んでいる

問 波野小、中学校の再編について目途は。

答 本年3月に両校PTAから再編要望書が出された。令和9年4月に向け再編準備委員会を設置し、諸課題に取り組んでいる。

問 波野校区の方々には、今回の決断に対し敬意を表したい。地域民の方も御理解いただいているのか。

答 地域の総意はいただいていると考える。

問 県教委は6年後に地域クラブへ移行することを目指すところ。本町ではこれに関する情報を聞いたことがない。子どもも親も理解していない。情報を積極的に出すべきでは。

答 情報不足があり、早急に検討し進めていきたい。

※ 鹿児島県教育委員会

問 再編は地区からの要望と考える良いか。

答 間違いありません。



▲ 波野小学校

議員研修会について報告いたします

日時	研修項目	研修詳細	場所	参加人数
5月 8日 (金)	・ Chromebook 操作 ・ AI 活用研修	・ 肝付町の DX を考える研修会 (GWS・データ・生成 AI)	第2・3委員会室	11 名
5月 13日 (水)	町村議会議員研修会	・ ハラスメントのない議会を目指して ・ 激動の国際情勢と日本の安全保障	ホテルウエルビュー かごしま	12 名
5月 14日 (木)	新議員研修会	・ 議会の使命と議員の職責 ・ 定例会・臨時会 ・ 議会における議員の発言等	市町村自治会館	4 名
5月 14日 (木)	肝属・曾於郡議員 研修会	・ 議会運営に関する一般的な事例等 について	マリンパレスかごしま	8 名
6月 5日 (金)	パソコン操作研修会	・ オンライン会議・様式等ダウンロード の方法・検索方法・メール受信 の確認・本会議における ・ GoogleMeet の使用方法など	議場	6 名



▲ 5月 13日 (水) 町村議会議員研修会



▲ 5月 14日 (木) 肝属・曾於郡議員研修会

傍聴者との意見交換会を実施

6月 19日 (金) 議会終了後、傍聴者との意見交換会が役場3階の委員会室で行われました。
下記は、意見交換会時の意見になります。(一部を掲載しています。)

- 新人議員の誕生により議会の雰囲気が変わることを期待している。
また新人議員の一般質問を聞いてとても勉強されていると感じた。
今後も更なる躍進を期待したい。
- 一般質問で、選挙の投票率向上と掲示板の設置改善を訴えていたが、他にも掲示板の設置場所が道路の角にあり、見えにくいのもあるので改善が必要と感じた。
- 不登校の問題については「不登校支援室 きらっと」の設置など、少しずつではあるが是正されていることに納得ができた。
- 異常気象が多い中、防災の観点から危険箇所調査に基づき、災害の予防対策ができないのか疑問に思う。
- 全議員で情報を共有して新しい風を吹かせてほしい。
現職議員は新人議員に情報共有していただければありがたい。
- 高山温泉ドームの利用促進について、入浴料や年間会費の料金の見直しも必要ではないか？施設を維持するために住民の負担がもう少しあっても良いと考える。
- やぶさめ館の駐車場を利用する時、遠い駐車場に案内されて不便だった。また、喫煙場所や、駐車場のラインが不鮮明なので改善して欲しい。



▲ 傍聴者との意見交換会のようす

「傍聴者のこえ」

傍聴者の数 延べ人数 49名

第2回5月臨時会 /18名

6月定例会

(6月 5日/ 4名 6月11日/12名)
(6月12日/ 7名 6月19日/ 8名)

新人議員の皆さまへ多くの方々の信任を得て選出されたという重責から何かを言わなければならないという思いにかられてしまうことがあるかもしれません。議員の価値は、質問の回数や当選回数ではありません。

新・元議員3名の質問、よく調査された質問でした。今後の活躍を期待します。

町政は車の両輪であるという質問はとても良かったです。その気持ちをいつまでも持ち続けていただきたいと思います。

国への予算要求は町の事業目的を持った財源であるべき、今ひとつ説明が欲しかった。

町政の発展のために、時には寄り添い、時には議論をして同じ目標に向かって邁進しましょう。

財源確保のため財政問題についての質問を期待します。

定数12名になり質問の機会があります。是非年1回以上の質問をしてください。同じことを言わないでください。町の問題はたくさんあります。

志高いベテラン議員とやる気に満ちた新人さんたちが切磋琢磨され、少数精鋭と呼ばれる議会議員活動を目指してください。

※議会中の傍聴意見を掲載しました。

編集後記

最後までお読みいただき、心より感謝申し上げます。

今春4月の改選にともない、当議会は4名の新人と1名の元職を迎え、12名の新体制として新たな一歩を踏み出しました。

先般、6月30日付の南日本新聞のコラム「記者の目」にて、本町議会の傍聴者意見交換会が取り上げられました。記者の方からは、「住民との距離を縮めたいと努力する姿はどんどん報じ、応援していきたい」との心強い言葉をいただいております。皆様からの「あと一歩踏み込んでほしい」といった耳の痛いご意見も、議会が襟を正し、より良いルールや予算の使い道を議論するための大切な糧となっています。

今後も皆様からの声を真摯に受け止め、暮らしに結び付く議会の姿をこの広報紙を通じてもれなくお届けできるよう、広報委員一同、より一層励んでまいります。

文責 前原 和幸

議会広報委員会

委員長	前原 和幸
副委員長	清水 幸祐
委員	原口 泉
委員	小玉 秀行
委員	中村 かよ
委員	木村 實馬

第80号

◆発行 肝付町議会 ◆編集 議会広報委員会

TEL 0994-65-2511 (内線1263)・0994-65-8431 (直通) FAX 0994-65-2507
肝付町議会ホームページでも、ご覧いただけます。 URL <https://kimotsuki-town.jp>



肝付町議会トップページ